

CN

CampusNOW

No.
90
2018.3.8

発行／鶴見大学
鶴見大学短期大学部

編集／総務課
〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

学校法人 総持学園

鶴見大学

大学院 歯学研究科(博士課程) 歯学専攻
文学研究科(博士前期・後期課程)
日本文学専攻・英米文学専攻・文化財学専攻
歯学部 歯学科
文学部 日本文学科・英語英米文学科
文化財学科・ドキュメンテーション学科

鶴見大学短期大学部

保育科
歯科衛生科
専攻科 保育専攻・福祉専攻

鶴見大学附属中学校・高等学校

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

CONTENTS

特集 グローバルな体験の中で何を学ぶ

鶴見大学の海外留学体験

「遊びを通して学ぶ」世界に広がる日本の保育

交通ルールを守って、安全な毎日を
寺澤瑞香さんが鶴見区高齢者交通安全大会で一日警察署長に

クラブ活動Pick UP!

大学から始めた長距離で歯学体女子3000メートル優勝

就職FRONTLINE

就職内定者INTERVIEW

グローバルな
体験の中で
何を学ぶ

鶴見大学の 海外留学体験

鶴見大学文学部には充実した留学制度があります。約1年間海外で英語を学ぶ長期派遣留学は、リジャイナ大学(カナダ・サスカチュワン州)とニューイングランド大学(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)を研修先とし、1年間留学しても4年で卒業できるプログラムを組んでいます。夏休みには短期留学の機会があり、3週間集中して英語を学ぶ「海外英語研修」(米国・カリフォルニア州)および2週間の体験型「海外文化研修」(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)を開講しています。実際に英語圏の生活を通して、英語を学び、文化に触れる海外留学を前に、期待と不安にあふれる2人の学生。充実した留学生活を送る方法を、海外経験豊富な英語英米文学科の菅野素子准教授と留学に参加した先輩に聞きました。

現地の空気を感じることが大切 そこから広がる国際的な視野

海外で成長したい

菅野 鈴木さん、福島さんはどんな理由で留学しようと思ったのですか。

鈴木 第一に海外で生活したいからです。実際に生活することで英語圏を肌で感じたい。日本にいる時のように、友人とか周囲に頼らないで生活する中で、人として成長したいとも思いました。また、バンクーバーでの留学経験を持つ高校の先生からの「厳しかったけれど、留学で生きがいを見つけることができた」という言葉にも大きな影響を受けました。

福島 高校時代、友達がフランスに留学して、言葉だけではなく、その国の生活や文化も学んで帰って来ました。それが羨ましくて、いつかは留学したいと思っていました。高校の担任の先生に相談すると、個人よりも大学の留学制度を利用した方が安心とアドバイスされました。

菅野 増井さんの参加の理由は。

増井 スポーツトレーナーとして海外で活躍するという夢があって、大学入学前から留学を考えました。受験時も留学制度を含めて鶴見大学を選びました。長期留学をしても4年間で卒業することが決め手

でした。

福島 私の人生設計では20~25歳でいろいろなことに挑戦したいので、その前に留学できることに意味があります。英語がうまく話せなくても参加できると聞いて、うれしかったです。

菅野 私自身の体験からすると、留学して世界が開けました。英語



2回の留学を通して
自分の環境適応力に
気づいた



文学部英語英米文学科

菅野 素子准教授

鶴見大学文学部では学生の長期留学・海外研修を担当。学生の留学の引率をはじめ海外経験が豊富。自身も学生時代にイギリスとオーストラリアに長期留学



文学部英語英米文学科4年

増井 稔さん

出身校：飛龍高等学校(静岡県)

2年でアメリカでの短期留学を経験した後、3年の4月から12月までオーストラリアのニューイングランド大学に長期留学。元高校球児

ができれば世界が広がる、将来に役立つと考えて留学しました。そんなに期待していなかったんですが、毎日がリニューアル、新しい発見の連続でした。鈴木さんのように、自分を発見したい学生が多いけれど、海外では環境も違い、自分の違う面を出さざるを得ません。そこで新しい自分を認識し、視野も広がります。

増井 僕も留学で意外に自分に環境適応力があると思いました。バリアが取れて、初対面の人にも話せるようになりました。自分を出さざるを得ないところで、自ずと環境に馴染む能力を身につけられるようになります。

鈴木 留学でそういう自分に出会いたいと思っています。

人と出会って、英語を話す

鈴木 一番の心配は、留学先でうまく言葉が通じるか、です。

福島 私も全く話せませんが、留学経験のある人からは、大丈夫と言われましたが。

増井 最初からうまく話そうとしても通じません。失敗を重ねても、とにかくチャレンジする勇气が必要です。

菅野 たくさん質問するようにす

るといいです。「これは英語でどう言うの?」「それは一体、何?」。何事にも興味を持つ人は早く英語が上達します。

増井 相手がアラビア系の留学生だったら「蛇口から石油が出るの?」とか、自分が思ったことを聞きに行くのも方法です。

菅野 英語と日本語の一番の違いは笑いです。ちょっと気が利いて、周りを和ませる言葉のセンス。相手に話が面白いと思わせたら友だちがたくさんできます。

鈴木 人を笑わせるのは好きですが、できるかな。

福島 短期留学では自由な時間にスポーツをすることもあると聞きましたが、私はスポーツがとても苦手なんです。

増井 とにかくいろいろなコミュニティに参加することが大切です。僕は野球チームに入ったり、ジムに行って、さまざまな人に自分を発信しました。

自分の意見を主張する

鈴木 留学で準備しておいた方がいいものを教えてください。

菅野 話のネタになるので、自分に関する写真データを整理して持っていくこと。そこから話題が広がるし、言葉が通じなくても写真が助けになります。簡単な日本食をホストファミリーや友人に作ると喜ばれます。ツナとスモークサーモン、錦糸卵のちらし寿司が好評でした。

増井 僕は生姜焼きですね。

菅野 それから現地の歴史や文化について調べていくこと。

福島 英語を学ぶことももちろんですが、生活の違いも確かめたいです。

菅野 先日、留学希望者のオリエンテー



ションを行い、学生からホムステイ先の希望を提出してもらいました。留学生とホストファミリーのマッチングのためにも、希望は少しでも多く書くことが大切です。海外では、はっきり言わないと分かってもらえないことが多いです。

鈴木 僕は自分で行動してみたいという気持ちが強く、ホストファミリーは少し距離を持ってくれる家庭が希望です。

菅野 長期留学もカナダとオーストラリアとありますが、留学先の環境も違えば、プログラムも違います。カナダは英語を効率的に学ぶカリキュラムだし、オーストラリアは1クールごとに長い休暇が入って、自由な時間が多いですね。

増井 いろいろなところに旅行したり、旅行で新しい友達もできました。僕にはオーストラリアの留学が合っていました。

困難をどう克服するか

菅野 帰国前に学生のホストファミリーへの手紙を見ると、その学生の知らない部分を発見します。違う環境の中で強く伝えたいことが出て来るのでしょうか。2週間の短期留学でも事前学習をしっかりすれば、英語も成果が出ます。事前学習がないと、上達まではいきませんが、英語を学ぶ動機づけには意味があります。意欲は確実にアップします。

増井 現地ではうまくいかないところがあると思いますが、それをどう克服するかです。

菅野 就職活動の面接でも、困難を乗り越えた経験は強みになります。自分の知らない部分の発見や周囲とどうやってきたかなど、留学経験は役に立ちます。

福島 いつも海外の人を見るとフレンドリーに見えます。私も留学で英語を上達させて、困っている人を見かけたら話し掛けられるようなオープンマインドを身につけたいです。せっかく大学で日本語を学んで

いるので、海外の人に日本語を教えられるようになりたいです。

鈴木 大学で英語を学び、英語圏で長期留学した経験を生かして、将来は日本と世界をつなぐ仕事に就きたいです。

菅野 英語だけ学ぶのなら留学の必要はないと思いますが、不思議なことに、飛行機を降りた時から、その空気が違います。その空気になじめるといいですね。成功のために一番大事なのは我慢し過ぎないこと。いつも新しいことにオープンでいられるといいと思います。

海外での生活を通して、
人として成長したい



文学部英語英米文学科2年

鈴木 貴也さん

出身校：荏田高等学校（神奈川県）

カナダのサスカチュワン州にある州立リジャイナ大学にこの4月から8か月間の長期留学をする予定。留学が近づき期待と緊張の日々

出会いの中で
オープンマインドを
身につけたい



文学部日本文学科1年

福島 幸さん

出身校：大森高等学校（東京都）

夏季休暇を利用し、カリフォルニア・ドミニカン大学の3週間の「海外英語研修」に参加する予定。アパレル同好会では増井さんの後輩



附属三松幼稚園ではひとクラスずつ保育室を回って保育の様子を見学

日本の保育現場の実践を紹介

短期大学部保育科では、2004年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）の要請を受け、中東アラブ諸国の乳幼児教育関係者を対象にした就学前教育の研修を実施しています。

これはJICAの海外青年協力隊員が開発途上国で支援している乳幼児教育を、現地の教育関係者が理解できるように、日本の保育現場の実践を紹介するもので、毎年、数か国からの教育関係者が研修に参加します。今回は現地の政情の混乱もあり、エジプトだけで13人が参加しました。11月26日から12月16日までの約3週間、鶴見大学での講義や実習を中心に、附属三松幼稚園、總持寺保育園をはじめ、近隣の幼稚園・保育園、子育て支援センターの視察など、内容の濃いプログラムが進められました。

園児や大学生との交流も

研修員はJICAが乳幼児教育を支援している5つのモデル地域で、教育行政に携わっている皆さん。11月29日の三松幼稚園の施設見学では、遊びを主体にした保育の実践を見学するために、ひとクラスずつ保育室を視察し



附属三松幼稚園では折からの坐禅の時間。園児と一緒に坐禅する研修員も



学生と一緒に作った「ポットン落とし」。それぞれにユニークな発想が

ました。保育士の経験者もいて、一緒にあやとりや追いかけっこをするなど、園児とは言葉が通じなくても、気持ちは通じます。

大学では保育科のさまざまな講義や実習を受講。12月6日の学生交流では天野珠路教授（保育科）の指導で保育科の学生とともに「ポットン落とし」など幼児向けの遊具作りを楽しみました。「エジプトの皆さんの形にとられない自由な考え方、新しい発想に出会えて、すごく楽しかったです」と、泉桃子さん（保育専攻）。「英語が得意でなく、なかなかコミュニケーションがとれなく

ても、たくさん声を掛けてくださって、うれしかったです。表情や仕草で気持ちを通じ合わせておもちゃを制作できたことはこれからもずっと忘れません」と、安川恵理佳さん（保育専攻）。交流した学生にとっても異文化を越えて学んだことは少なくなかったようです。

母国の教育水準を上げたい

「今回の研修では『遊びを通して学ぶ』という私たちにとって新しい幼児教育の方法に期待して参加しました。エジプトでは公立保育園でも統一した基準がありませんが、日本ではどの幼稚園・保育園でも統一した基準を持って運営されていることが印象的でした。帰国後は現場の保育者をしっかり教育して、水準を上げたいと思います。訪問した子育て広場のように、親と子が一緒に遊び学ぶ施設を作りたい。鶴見大学短期大学部はすぐく連携がよく、講義で学んだ学問的な知識を現場で確認できて、とても効果的でした」。社会連帯省で保育園のコーディネートをやるマナールさんは研修の成果を認識しています。

「研修員の皆さんは日本の幼児教育の制度や基準などに関心が高いのですが、エジプト駐在のJICAの専門スタッフと連携をとって、『遊びを通して学ぶこと』を知ってもらい、その上に制度があることを理解していただくプログラムを作りました。今回は小学校の視察もできたので、遊びを通して学んだ園児が、小学校でスムーズに学びに向っているところも見てもらえました。逆に、私たちには当たり前の、『日本の子どもの遊びの細やかさは、園庭の狭さが関係している』ことに研修員の皆さんから気づかされました。交流の中で学生たちが保育には臨機応変も必要であることを学び、自信もつけたようです。プログラムの構成、コーディネートを担当した片川智子講師（保育科）は国際交流から生まれた学生の成長にも手応えを感じました。



帰国前日の交流会ではエジプトの子どもたちの作品を大山学長にプレゼント

交通ルールを守って、安全な毎日を

寺澤瑞香さんが鶴見区高齢者交通安全大会で一日警察署長に

キャンパスナウ88号「世界に羽ばたく鶴大生」で紹介した一輪車競技の世界大会で準優勝の文学部英語英米文学科3年の寺澤瑞香さん(川崎渡田一輪車クラブ)が、ペアを組む松田悠さんと、昨年秋に鶴見公会堂で開催された「鶴見区高齢者交通安全大会」で一日警察署長に任命されました。



「増える高齢者の事故。お年寄りを交通事故から守ろう」と、秋の全国交通安全運動期間に合わせて毎年開かれているこの催しには、鶴見区の老人クラブ、自治会関係者、交通安全関係のボラン

ティア、警察関係者など400人が参加。「心と時間のゆとりから」[高齢者、模範を示そう交通マナー]のスローガンを確認して、交通安全を誓いました。壇上では寺澤さんペアへの委嘱式も行われました。

また、二人の一輪車演技も披露。鮮やかなパフォーマンスに会場から大きな拍手がわき上がっていました。

「皆さん交通ルールを守って、安全な毎日を送ってください」。地域の交通安全に貢献する寺澤さん。「警察官の制服を着られるとは



来場者からの質問に答える寺澤さん(写真右)



一日警察署長の寺澤さん(写真右)

思っていなかったもので、うれしいです。緊張しましたが、会場の皆さんが温かい気持ちで迎えてくださったので、すごく楽しかったです」と寺澤さんは貴重な一日を振り返ります。

目下の目標は「今年の夏、韓国で開かれる世界大会での優勝」と語る寺澤さん。

この日、地元からの熱い声援を受けた寺澤さんペア。初優勝に期待がかけられています。

クラブ活動 PickUP!

陸上部



短期大学部歯科衛生科1年

宮澤 奈央さん

出身校：松本美須ヶ丘高等学校(長野県)

昨年、北九州市小倉で開催された第49回全日本歯科学学生総合体育大会において陸上競技女子3000メートルで陸上部所属の宮澤奈央さんが見事に優勝しました。

—いつから陸上競技を続けているのですか？

長距離を始めたのは大学に入ってからです。中学生では陸上競技の短距離、高校ではバドミン

全日本歯科学学生総合体育大会 陸上女子3000m優勝！

～日頃の練習の積み重ねで、勝ち取った優勝～

トン部に所属していました。昔から走ることが好きだったこともあり、長距離への転向を決めました。

—レース当日はどんな気持ちで臨みましたか？

試合で3000メートルを走ることが初めてでしたので、他の選手との駆け引きや、ペース配分も分からず、勝ちたい気持ちだけで必死に走りました。レース序盤は上位集団につけ、1000メートル過ぎからペースを上げ、最後は2位を大きく引き離し、勝つことができました。

—普段の練習方法を教えてください。

陸上部での練習は火曜日と木曜日ですが、部員の中には授業や実習が忙しく、練習に参加することができない日もあります。そのため、個人で練習することが多く、基礎体力アップのために体育館のトレーニングルームで筋力トレー

ニングを行ったり、鶴見川の土手を走ったりしています。

—普段の生活や練習で工夫していることは？

平日はどうしても練習時間が限られてしましますが、練習時間が十分に確保できない状況でも、心身のコンディションを整えるために、短い時間で濃密な練習をできるように心掛けています。いい練習の後は、勉強の効率も上がる気がします。

また、週末に練習や試合がない時は地域のランナーズクラブに参加したり、チームの仲間と山登りをする等、様々なことに取り組み、陸上競技を楽しんでいます。

—今後の目標は？

以前に、陸上部で大学女子駅伝に出ようという話がありましたが、選手が集まらず出場できませんでした。この4月には新入生が



宮澤奈央さん(写真左)

たくさん入部してくれることを期待し、いつかは陸上部として駅伝大会に出ることを目標としています。

また、個人としては、今年の夏の大会では、3000メートルでの二連覇に加え、800メートルにもチャレンジする予定です。そのために、フォームの矯正やスピード強化に取り組みたいと思っています。長距離では他の強い選手達とまだまだ差があると思いますが、練習方法を工夫し、日々の努力を積み重ねることが、良いタイムに繋がっていると思っています。これからも、1番になることを目標に走り続けたいと思います。

就職 FRONTLINE

有効求人倍率は上昇を続けていますが、若者が将来を託す就職先を探すことの難しさは変わりません。2017年の就職戦線で内定を勝ち取った4人の先輩に成功体験を聞きました。笑顔の背景には「早いスタート」「真摯な自己分析・企業研究」「キャリア支援課のサポート」というキーワードがありました。



文学部日本文学科4年

近藤 太貴さん

出身校：向上高等学校(神奈川県)

内定先：神奈川トヨタ自動車株式会社

部活動と両立した就職活動

就職活動には危機感を感じていたため、所属していた硬式野球部を引退することも考えていました。しかし、監督も就職活動に理解をしてくださり、部活動を続けながら就職活動をすることができました。

就職活動が解禁になる3年生3月以前にも企業が主催するセミナーに積極的に参加し、様々な企業の働き方を理解することができました。内定先の企業との出会いもそのセミナーに参加したことがきっかけでした。

野球経験を武器に積極的に企業にアピール

応募する企業を選ぶにあたり、これまでの野球経験で大切にできた「人の気持ちをしっかりと汲み取る」ことを軸にしました。そして、お客さまに密接に寄り添うことができる自動車業界を志望す

ることを決めました。応募書類の履歴書はキャリア支援課の方に何度も添削をしていただき、「自分の魅力」を整理することができました。また、面接レッスンでは実際に話している場面をビデオで撮影していただき、客観的に自分の癖や欠点を見つけ修正することもできました。

万全の準備で就職活動することが大切

内定をいただいた要因を振り返ると、面接試験などで人事担当者に積極性をアピールできたことだと思います。選考途中ではありませんでしたが、人事担当者の方々に顔と名前を覚えていただいたり、就職活動の相談に応じてくださるなど、その積極性が良い方向につながったと思います。これから就職活動をする皆さんには是非早くから志望業界を決め、中途半端な気持ちではなく、万全の準備をして挑戦してほしいと思います。



短期大学部保育科2年

土屋 彩莉沙さん

出身校：東京高等学校(東京都)

内定先：大田区職員(保育士)

面接レッスンを経て、自分らしさを発揮

母と姉が保育士であることから影響を受け、また、福利厚生・待遇面などで安定している公務員(公立保育園)を高校時より目指していました。

採用試験の日程は8月に第1次試験が行われ、筆記試験(一般教養と専門試験)と作文試験が、10月の第2次試験では個別面接と体力測定がありました。

筆記試験対策は、日常の授業の不明点をそのままにせず先生や友人に確認したりするなど、復習を大切にしていました。更に時間を見つけて過去問にも取り組みました。

近年の採用試験では、選考内容が人物重視の傾向であったことから私は個別面接に力を入れようと決意しました。第1次試験合格後、キャリア支援課で5度の面接レッスンを受けました。本番に近い雰囲気の中、反省点を克服しつつ練習を繰り返すことで自分のアピールポイントが徐々に明確になり、本番には自信を持って挑むことができました。

普段の取り組みが試験に生かされる

各市町村の個別面接では、「学校生活で学んだこと」「力を入れて取り組んだこと」などといった質問がよく聞かれます。本学の保育科は実習や授業が過密スケジュールですが、それらに取り組んだ時の姿勢や、意気込みといったことが、個別面接などで生かされたと実感しました。

公務員試験は、早期からの準備が合格に向け必要不可欠だと私は思います。振り返ってみると、面接練習やエントリーシートの添削などでキャリア支援課でお世話になったことが精神的な支えとなっていました。

また、私には同じように公務員試験を受験する友人がいたため、不安なことを共に語り合うことができました。私の就職活動は、沢山の方々に支えられていたと感じています。

今後就職活動を向かえる後輩の皆さんには悩みを話せる友人を大切にすることはもちろん、困ったときにはキャリア支援課へ相談に行くことをお勧めしたいです。

KEYWORD

01

早いスタート

02

真摯な自己分析 & 企業研究

KEYWORD



就職活動の入口

3年生の冬から本格的に活動を始めました。特に学内で1月に開催された企業人事担当者による集団模擬面接から意識が変わりました。具体的な助言や指摘をいただき、自分の考えが甘かったことを痛感しました。この体験から自己分析を改めて行い、キャリア支援課の方だけでなく、友人にも相談をし、自分自身を見つめ直すことができたように思います。

初めての企業面接と 内定までのプロセス

3月下旬、初めて面接を受けました。1月から事前準備を進め、とても自信があったのですが、1次試験には落ちてしまいました。改めて思い返してみると、どのように企業へ貢献するのかといった意欲が不足していたように思います。

不合格の通知を見たときは、とても落ち込みました。しかし、両親から『過ぎたことは切り換えていくしかないよ』と言われ、何とか切り替えて活動を続けることができました。

更に4月からは地元企業を中心に活動を進めました。インターネットや企業説明会で得た情報をまとめたノートを作成し、企業研究を行いました。しかし、試験が進むにつれ、企業から求められる水準も高くなり、『今のやり方で良いのだろうか』と迷うこともありました。

内定先の試験は3月下旬から始まり、9月頃に採用通知を頂きました。選考試験に臨むにあたり、社内報を取り寄せるなど企業研究もしっかりと行いました。その準備もあって、落ち着いて面接を受けることができ、面接官には一歩踏み込んだ質問をすることもできました。説明会などで企業から与えられる情報だけではなく、自分で調べた情報だからこそ、自信を持って質問できたのだと思います。

キャリア支援課では、履歴書の書き方や自己アピールの方法など親身になって相談に応じてもらい、更に電話によるフォローアップもしていただきました。私が内定報告をしたとき、キャリア支援課全体で喜んでくださったのが印象的で、とても感謝しています。



幅広い領域の仕事を学びたい

私は総合病院と一般歯科医院を志望し、就職活動の準備を行っていました。キャリア支援課にもよく足を運び履歴書の添削をしてもらいました。当時は一般歯科医院と総合病院のどちらを受験するか迷っていたため、見学には3件伺いました。2件が一般歯科医院で、もう1件が内定を頂いた仁厚会病院でした。しかし、全てを見学した後でもどこを受験するか迷っていたため、キャリア支援課に相談したところ、昨年卒業し仁厚会に入職した先輩を紹介していただきました。先輩と直接お話ができたことで、う蝕の治療や口腔の疾患など幅広い仕事があり、様々な経験を積める総合病院で働きたいと考えるようになり、受験することを決めました。

エントリーから受験まで

その後、仁厚会病院に連絡し、受験日が決まりました。受験日までは少し余裕があったため、改めてキャリア支援課で面接レッスン

や履歴書の添削をしてもらい、先輩の内定報告書も確認しました。特に面接レッスンでは基本的な礼儀作法を学び、また、さまざまな質問に対応できる練習も行いました。更に自分だけでは気付かないことを指摘いただいたことで、普段から丁寧な言葉使いを心がけるようにもなりました。そして、一歩踏み出し沢山の準備をしたことで、無事に内定をいただくことができました。

同じような規模の歯科医院でも力を入れている専門分野が異なり、就職活動の進め方が違ってくことも分かりました。就職活動を始める前に自分は何を重視して就職活動を行いたいのか、そして、どんな歯科衛生士になりたいのかを意識すると良いと思います。私は総合病院も視野に入れていたため早くから活動を始めましたが、そうでなくても積極的にキャリア支援課を活用し行動を起こしてほしいと思います。キャリア支援課は私たちの味方です。是非足を運んでください。

KEYWORD

03

キャリア支援課の サポート

大学からのお知らせ

教学課より

年度始めの オリエンテーションについて

3月下旬より、学科・学年別に年度始めのオリエンテーション・説明会を行います。詳しい日程等は学内掲示・大学ホームページ・ポータルシステムで確認して、必ず出席してください。

保健センターより

平成30年度 学生定期健康診断の実施について

3月30日(金)・4月2日(月)・6日(金)に、全学生を対象に実施します。学科・学年別に受診日を定めていますので、日程・検査項目等の詳細を、学内掲示・大学ホームページ・ポータルシステムで確認し、受診してください。

定期健康診断を受診しない場合、健康診断証

明書等の発行停止の他、教育実習等の実習に参加できませんので、必ず受診してください。

図書館より

卒業記念展示・撮影会

日時：2018年3月14日(水) 9時～16時

場所：図書館1階展示コーナー

展示品：源氏物語扇面貼交屏風

文化元年(1804)制作6曲2隻

記念撮影：当日は閉館ですが、エントランスのみ開放しています。屏風の前で自由に記念撮影ができます。



卒業生の図書館利用

図書館は卒業後も利用できます。来館時にカウンターへ申し出てください。なお、図書貸出を希望する場合は「図書館利用カード」が必要です。登録手続きを行ってください。手続きは、卒業式・修了式の終了後からカウンターで受け付けています。



登録料：500円(証紙)

有効期限：登録日より1年間

貸出冊数：3冊 貸出期間：1ヶ月

※「図書館利用カード」のバーコードをパネルにかざすと入退館ゲートが開きます。

※カードがない場合は、入館時はゲート横のチャイムを押し、退館時は声をかけてください。

2018 春のオープンキャンパス開催!

高校生と、保護者の方を対象としたオープンキャンパスを開催いたします。新学期が始まる前に本学の情報をキャッチして、新たな学年のスタートを切ってください!

3月18日(日)

13:00～16:00(15:00受付終了)

全学科同時開催

申込不要

学科紹介、模擬授業、個別相談など実施予定です!

教育振興支援寄附金募集

鶴見大学は、建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなっています。「鶴見大学教育振興支援寄附金」は、学生が主体的に自らの能力を発揮して地域社会の発展に貢献し、感謝や奉仕の心を学ぶ教育活動に供することを目的とし、募集させていただいております。この趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

◎お問い合わせ先

鶴見大学総務部総務課

電話 045(574)8608

FAX 045(574)8688



学内ルールを守りましょう

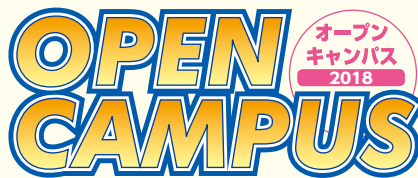


携帯電話
マナーを
守りましょう



喫煙は
決められた
場所です

2018年度オープンキャンパス日程が決定いたしました。どうぞご期待ください。



全学科同時開催・申込不要・入退場自由



歯学部一日体験入学

要申込

5月27日(日)

13:00～16:00
(15:00受付終了)

6月17日(日)

13:00～16:00
(15:00受付終了)

7月22日(日)

10:00～15:00
(14:00受付終了)

8月 5日(日)

10:00～15:00
(14:00受付終了)

8月25日(土)

10:00～15:00
(14:00受付終了)

9月17日(月・祝)

13:00～16:00
(15:00受付終了)

7月28日(土) 8月25日(土)

8月25日は、オープンキャンパスと同時開催となります。歯学部ご希望の方は「歯学部一日体験入学」への参加となりますので、事前の申込が必要です。

*詳細は、決定次第順次ホームページでお知らせします。

【鶴見大学入試課公式】 受験生応援ブログ

鶴見大学・鶴見大学短期大学部の受験生の皆様へ、オープンキャンパス・入試等の最新情報をお届けいたします!



横浜

鶴見大学 鶴見大学短期大学部

Tsurumi University Tsurumi Junior College

ホームページURL <http://www.tsurumi-u.ac.jp>

携帯用サイトURL <http://i.tsurumi-u.ac.jp>



各種お問い合わせ先

●成績・各種届出・学生生活・学納金について

文学部教学課 ☎045-580-8212

短期大学部教学課 ☎045-580-8215

歯学部教学課 ☎045-580-8203

●奨学金について

学生支援センター ☎045-580-8217

●進路(就職)について

キャリア支援課 ☎045-580-8225

●入試について

入試課 ☎045-580-8219

●健康に関すること・健康診断について

保健センター ☎045-580-8283

●歯学部附属病院に関するお問い合わせ

☎045-580-8503

初診のお問い合わせ

初診科 ☎045-580-8540

●広報について

総務課 ☎045-574-8627